

広報

村のいとなみを伝えるマガジン

2025
No.677

10



しよ う わ



今月の表紙 2025.9.15

小野川地区で大学生受け入れを実施

9月15日から16日まで、小野川地区に専修大学（東京）の学生3名が来村しました。

初日は現在小野川地区が取り組んでいる集落戦略策定に向けた座談会に参加し地区への理解を深めその後の懇親会で交流を深めました。翌日は地区住民の方々と合同で除草作業を実施しました。刈払い機を初めて扱う学生達は、とまどいながらも地区住民の方々に扱い方を教えてもらいながら農道の草刈りを楽しみました。

学生達は印象に残ったことについて「皆さんにまるで自分の親戚かのように親切にしてもらえたことです」と話し、地区住民の方々も非常に楽しかったようで、早くも次の来訪を心待ちにしているようでした。

伊藤匠さん 宿根かすみそう 最高賞受賞



他にも本村の生産者から多数の受賞者があり、宿根かすみそうをはじめとした高品質の多種多様な花き生産技術が評価されました。

【受賞者一覧】

○金賞（農林水産大臣賞）

伊藤匠（大芦）

宿根かすみそう

（品種名：1219）

○銀賞（福島県花き研究会会長賞）

酒井晶雄（佐倉）

宿根かすみそう

（品種名：スターシャイン）

○銀賞

（全国農業協同連合会福島県本部長賞）

小泉寛紀（下中津川）

黒ほうずき

○銅賞（福島県花き振興協議会会長賞）

小泉寛紀（下中津川）

マリーゴールド（ホワイトスワン）

9月5日に、第51回福島県花き品評会が開催されました。県内の花き生産者が切り花や枝物など計205点を出品し、市場関係者らが色、形状、全体のバランスなどを審査しました。

「北と南の交流展」 を開催

8月23日から24日にかけて、本村と同じからむしの産地である宮古島から、関係者を招き映画上映会とワークショップを開催しました。



小学生 花育体験

9月2日に、小学3・4年生と中学1年生の合同で花育が実施されました。今回はかすみ草の収穫体験と調整作業を実施しました。

林玄三郎さん（喰丸）を講師に招き、収穫と調整作業のノウハウを学びました。収穫後は、喰丸小で調整作業を実施しました。かすみ草をそれぞれの規格に合わせて切り揃え、束ねて輪ゴムで一括りにする作業でつまづくことがあるそうですが、一生懸命取り組み無事作業を終える事が出来ました。



故紙コンテナパーク基金 贈呈式

9月3日、昭和中学校において、すみれ荘にリサイクルボックスを設置している荒川産業（株）の荒川洋二相談役が来訪し、故紙コンテナパーク基金の贈呈式が行われました。

これは荒川産業がリサイクルボックスの収益を地域に還元する取組の一環で今回昭和中学校が受領することとなり、荒川相談役から本名生徒会長に贈呈されました。本名会長は「大切に使用させて頂きます」と感謝の言葉を述べました。



おおくま町物語伝承の会による公演を開催

9月14日におおくま町物語伝承の会による公演「まち物語コンサート」が昭和村公民館で開催されました。当日は、大熊町の文化団体が多数出演し、唄・舞踊・民謡の他、この日に向けて練習を重ねてきた「昭和音頭」が披露されました。また、昭和村からも民謡の会の話し手2名が出演し、地域に伝わる民話を披露しました。



「昭和音頭」「民話」、
当日の写真はこちらの
QRコードから↓



染色体験と雪室の見学

9月18日に、9月2日に引き続き、花育の一環として、小学3・4年生と中学1年生の合同で、JA昭和支店の職員の方を講師にかすみ草の染色体験と、昭和村農林水産物集出荷貯蔵施設（通称・雪室）の見学を行いました。染色体験では児童・生徒たちは手や服に染料をつけながらも、集中して作業をしていました。流通について講義を受けたのち、染色している間に、昭和村農林水産物集出荷貯蔵施設の中を見学し「寒いね」「ここで保管していたんだ」と話しながら、JAの職員の方の話に耳を傾けていました。

その後は施設の雪の保管スペースも見学し、巨大な雪の塊の前に、皆圧倒されていました。最後に染色されたかすみ草を前に、皆さん笑顔でした。



「松山画師の系譜展」

9月15日～9月22日の間、徳林寺（野尻）にて昭和村出身の画師佐々木松夕らの作品を集めた「松山画師の系譜展」が開催されました。「山水群鶴図」、「竹に親子虎図」等約70点が展示され、来場者は、主催する小林政一代表による説明に耳を傾けながら、作品を楽しんでいました。来場者からは「地元出身で高齢になっても活躍し作品を残した画家で、勇気づけられる」と話していました。



昭和村敬老会

9月13日、昭和村公民館において、昭和村敬老会が開催され、約百名が参加されました。新たに70歳を迎える方を代表して馬場栄三さん（野尻）に敬老記念品が贈呈されました。また、「しあわせ金婚夫婦」は齋藤克之さん・トキイさん（喰丸）です。アトラクションでは、第1部として「ふじよし会（南会津町）」による舞踊が披露され、第2部では、わらべの会のコーラスが披露されました。



喰丸小で盆踊り

9月14日、喰丸小において、昭和村盆踊り愛好会主催による「喰丸小で盆踊り」が開催されました。当日は、仮装をした家族連れなどで賑わう中、盆踊り愛好会に所属する子どもたちが中心となり奏でる太鼓にあわせ、およそ1時間踊りを楽しみました。盆踊り愛好会の代表である酒井聡志さん（佐倉）は「地区での盆踊りの開催が年々難しくなる中で、伝統である盆踊りを継続していきたい。実施してほしい集落があれば出張します！」と話してくれました。



ちよいフィットしようわ運動教室

8月26日すみれ荘においてスポーツクラブの講師による運動教室が開催されました。シニアの部も青壮年の部も気持ちよくカラダを動かし、リフレッシュすることができました。運動教室は毎月1回すみれ荘で実施しています。だれでもできるやさしい内容になっていますので、お気軽にご参加ください。



右のエクササイズのチラシをご覧になりたい方はこちらから↓



～お家でできる簡単エクササイズ～

ハムストリングス(太もも裏)

20秒×2セット

- 1.イスに深く座る。
- 2.片方の足を前へ伸ばす。
- 3.しっかりと膝を伸ばし、つま先を上げる。
- 4.ゆっくりと体を前へ倒していく。

※ストレッチ中は呼吸を止めないように！
※痛みがない範囲で伸ばす！

～お家でできる簡単エクササイズ～

ニートウチェスト(下っ腹)

10回×3セット

- 1.イスに深く腰掛け、背筋を伸ばす。※床でもOK
- 2.ゆっくりと足を伸ばす。(つま先を遠くへ)
- 3.胸と膝を近づけるように足を引く。

※呼吸：伸ばす→吸う、曲げる→吐く
※足を曲げたときは上体を丸めるように！
※余裕があれば足を上げに行いましょう！

講師の先生から運動教室で実際にやった、家でできる簡単エクササイズのチラシを頂きましたので、みなさんもお試しください。



昭和村電子図書館

Showa Village Digital Library



利用方法は
←こちらから

昭和村電子図書館新刊情報

令和7年9月に新たに50冊の図書を導入しました。
いつでも、どこでも、好きな時間に好きな本をぜひご利用ください。

【主な貸出作品】



作品：運転者プレミアムカバー（20周年）
著者：喜多川泰作
出版：ディスカヴァー・トゥエンティワン



作品：続 使い切れない農地活用読本 もっと
著者：農文協作
出版：農山漁村文化協会（農文協）



作品：染五郎の超訳的歌舞伎
著者：市川染五郎作
出版：小学館

読みたい本の
リクエストは
こちらから→



その他、導入した図書は
←こちらから

ご利用にあたり、不明な点などございましたら、昭和村公民館（0241-57-2114）までお気軽にお問い合わせください。

すみれ荘日誌

○「大芦げんきクラブ」8月20日

大芦区長事務所において大芦地区の高齢者を対象とした「大芦げんきクラブ」が開催されました。

椅子に座りながら簡単にできる軽体操を行い、気持ちよくからだを動かすことができました。家などで一人でからだを動かすことはなかなか気が進まないですが、みんなで集まれば、楽しく元気に行うことができました。



○「喰丸あつまーれ」9月6日

喰丸区長事務所において喰丸地区の高齢者を対象とした「喰丸あつまーれ」が開催され、お茶飲みをしながら、軽体操、わなげなどを行いました。

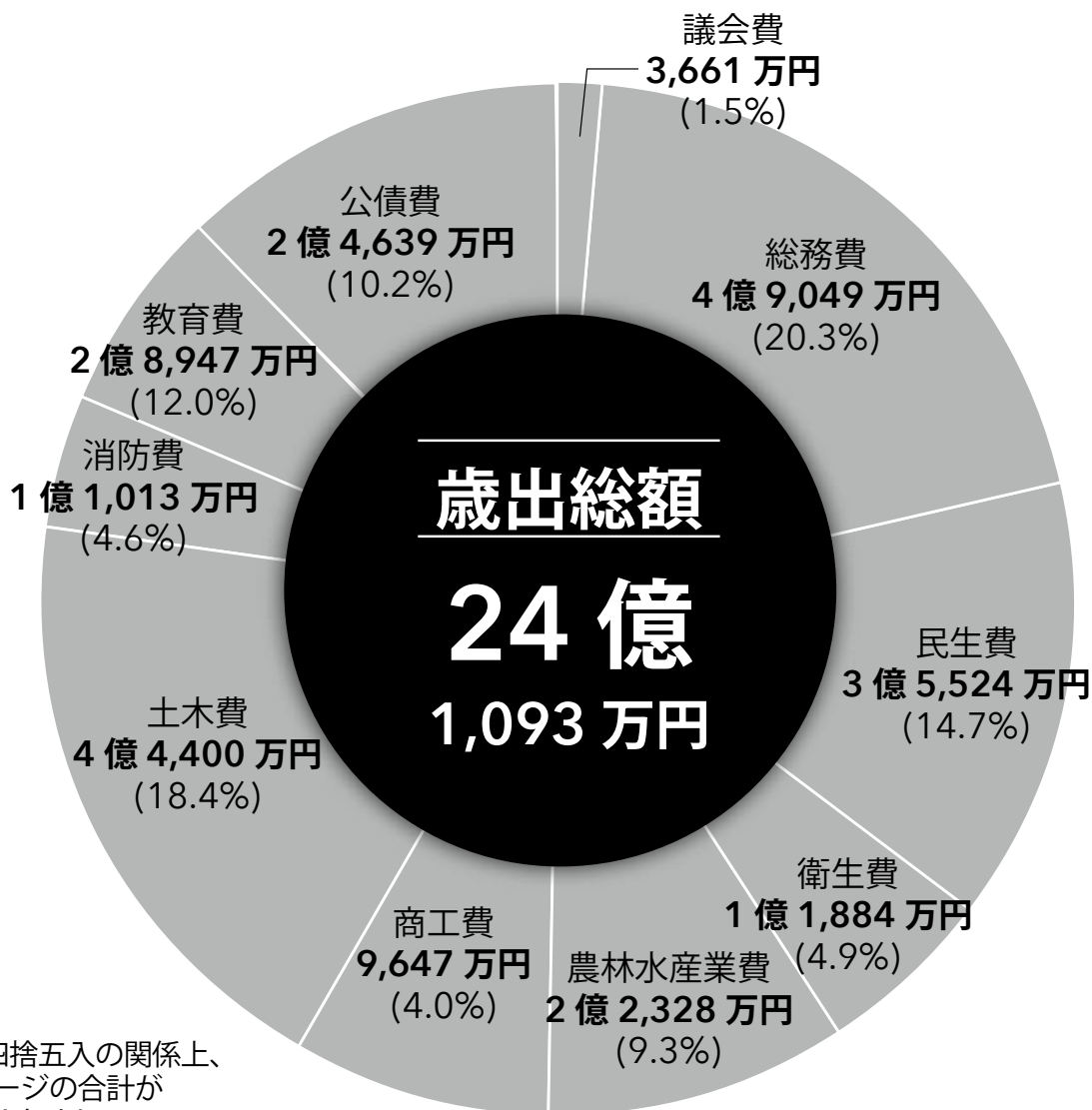
わなげはシンプルなゲームですが、点数を獲得するたび歓声があがり、盛り上がりました。楽しくおしゃべりもして充実したあつまりになりました。



9月に行われた議会定例会において令和6年度の決算が認定されました。

一般会計の決算額は、歳入総額 25 億 5,953 万円、歳出総額 24 億 1,093 万円で、前年度と比較して、歳入は 3.1%の減、歳出は 1.0%の減となっています。税金および国からの交付金などがどのように使われたのか、その概要をお知らせします。

令和6年度 決算 報告

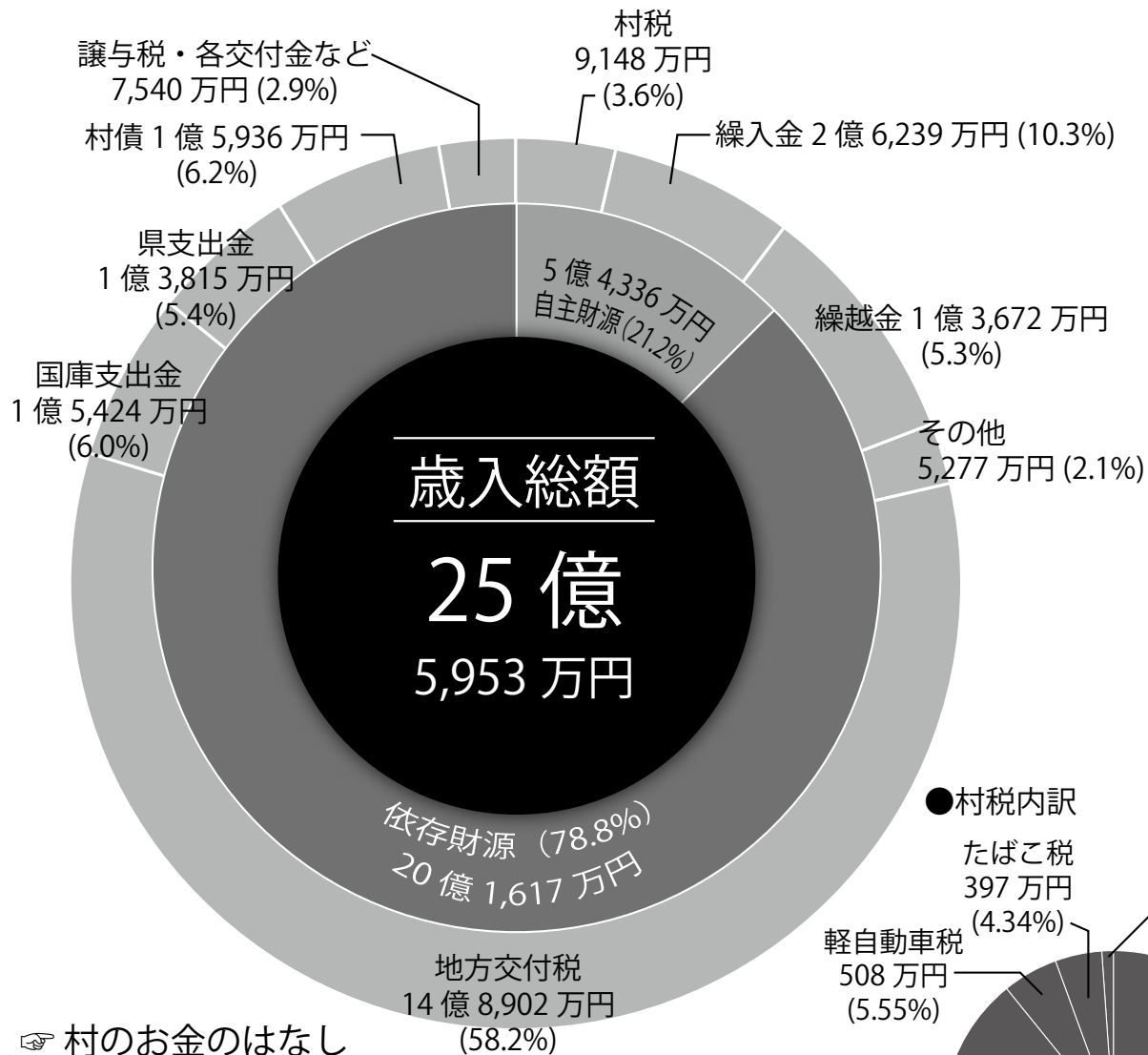


※グラフは、四捨五入の関係上、パーセンテージの合計が 100% となりません。

●特別会計決算表

		(万円)		
会計名		歳入	歳出	差引残高
国民健康保険特別会計	事業勘定	2 億 1,548	2 億 1,520	29
	施設勘定	1 億 808	1 億 169	639
簡易水道事業会計		1 億 1,674	1 億 1,724	-50
下水道事業会計		2 億 3,429	2 億 4,343	-914
後期高齢者医療特別会計		3,628	3,611	18
介護保険特別会計 (保険事業勘定)		3 億 7,547	3 億 5,261	2,285

※万円単位で、四捨五入の関係上、差引残高が一致しない場合があります。



村のお金のはなし

億単位の話なので、なかなか想像が付きにくいと思いますので、村のお金のことを身近に感じてもらいたいと思い、村民一人あたりに換算（年度末時点の人口 1,071 人で除算）してみた結果は、以下のとおりです。

なお、村の貯金である基金残高と村の借金である村債などの地方債も指標として付け加えています。

●村民一人あたりに使われたお金 2,251,107 円

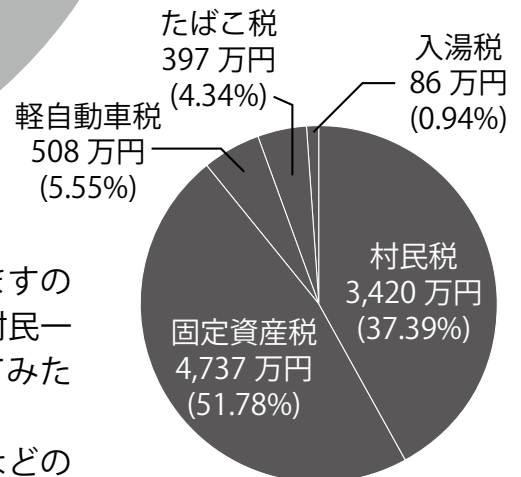
議 会 費	34,180	土 木 費	414,563
総 務 費	457,976	消 防 費	102,833
民 生 費	331,692	教 育 費	270,282
衛 生 費	110,965	諸 支 出 金	0
農林水産業費	208,479	公 債 費	230,058
商 工 費	90,079		

単位：円

●村民一人あたりの借金 215 万円

●村民一人あたりの貯金 221 万円

●村税内訳



●村民一人あたりの税負担額

85,424 円 (円)

内 訳	村 民 税	31,936
	固 定 資 産 税	44,230
	軽 自 動 車 税	4,744
	た ば こ 税	3,709
	入 湯 税	805

村が事業を行う際に起債（借金）をすることがあり、その借金は、長い年数をかけて返済していくことになっています。年度末の残高は、23 億 740 万円ですが、その返済については、地方交付税などによって財源保障されています。

一方、貯金とも言える基金の残高は 23 億 6,877 万円です。

令和6年度 決算 報告

●主な事務事業費

限られた財源を有効活用し、住民生活向上のため、多岐に渡り事業を実施していますが、そのうち各費目ごとの主な支出の内容は、次のとおりです。

総務費 4億9,049万円

● 会津計算センター負担金	4,343 万円
● 昭和村南会津町生活バス及び路線バス運行事業	2,402 万円
● AI オンデマンド移動サービス委託事業	1,095 万円
● 公共インフラ Wi-Fi ネットワーク整備事業 (増局分)	330 万円
● 広報公聴事業	231 万円
● DX 推進事業	420 万円
● 未来を描く地域団体応援事業補助金	83 万円
● 物価高騰対応重点支援給付金	1,423 万円

民生費 3億5,524万円

● 老人休養ホーム指定管理料	2,150 万円
● 高齢者生活福祉センター指定管理料	696 万円
● 昭和福祉会活動事業補助金	3,114 万円
● 坂下厚生総合病院救急医療 等体制支援負担金	73 万円
● 高齢者世帯等除雪費用助成事業委託料	118 万円

衛生費 1億1,884万円

● 会津若松地方広域市町村圏 整備組合衛生費負担金	1,072 万円
● 廃棄物処理事業	808 万円
● 予防接種事業	459 万円
● 生活支援体制整備事業	613 万円
● 保健事業（健康診断）	343 万円
● 産婦人科・小児科オンライン相談事業	68 万円

消防費 1億1,013万円

● 消防団員報酬	518 万円
● 消防団員用高視認性雨衣購入事業	486 万円
● 消火栓更新（3箇所）	676 万円
● 会津若松地方広域市町村圏 整備組合負担金	6,732 万円

農林水産業費 2億2,328万円

● 中山間地域等直接支払交付金事業補助金	1,748 万円
● 多面的機能支払交付金	1,162 万円
● 担い手対策支援事業補助金	436 万円
● 新規就農者参入推進事業	3,266 万円
● ナラ枯れ危険木伐採作業	128 万円
● 森林環境交付金事業	541 万円
● 有害鳥獣捕獲事業	335 万円
● 農林水産物集出荷貯蔵施設 設備修繕事業	389 万円

商工費 9,647万円

● 地域振興事業	506 万円
● 移住定住促進空き家活用事 業住宅改修工事	633 万円
● 奥会津昭和の森管理運営事業	433 万円
● からむし織の里指定管理料	2,000 万円
● 空き家住宅改修援助金	425 万円
● かすみ草の村地域振興券発行事業	1,276 万円

土木費 4億4,400万円

● 冬期道路確保事業	1 億 9,855 万円
● 村道改良事業	2,095 万円
● 道路維持補修事業	5,142 万円
● 村道管理事業	134 万円
● 村営住宅管理事業	410 万円
● 河川管理事業	26 万円

教育費 2億8,947万円

● 教員宿舍新築事業	1 億 2,460 万円
● 小學校外壁補修工事	1,525 万円
● ICT 教育支援業務委託	193 万円
● 電子図書館事業	145 万円
● 公民館床等張替工事	248 万円
● 駒止湿原保護協議会負担金	170 万円

行政報告

令和7年度9月議会

村では、議会定例会ごと
に、各分野の事務事業など
の進捗状況などを行政報
告として議会に報告して
います。今回は9月議会に
おける報告のあらましを
お知らせします。

●持続可能な協創のむら

集落の課題解決や維持・
活性化を支援する集落支
援員については、8月に獨
協大学の学生が来村し、地
元住民と地域活性化に向
けた話し合いや意見交換
等の交流を行いました。

●「先端的過疎」について

6月中旬から、各集落の
区長事務所を会場に、全
村民を対象としたスマホ・
タブレット相談会を開催
し、参加された住民それぞ
れに寄り添った対応や提
案などを行っています。ま
た、デジタル何でも相談室
には、連日村民から問い合
わせをいただいています

ので、担当係の職員が戸別
訪問により対応していま
す。

●消防・防災について

昭和村消防団と地域住
民及び行政や消防・警察な
ど、災害対応にかかわる機
関が連携した防災訓練を、
防災月間である9月28日
に実施いたします。

この訓練では、日落沢地
内を除く両原地区の住民
を対象に、大雨による土砂
災害の発生を想定した避
難誘導訓練及び避難所開
設訓練を行います。訓練で
は、消防団員による住民
の避難誘導を行うことも
に、7月下旬に納入された
消防防災用無人航空機ド
ローンを活用した被害状
況の確認や避難ルートの
安全確認、避難者の誘導・
避難の呼び掛け、また、デ
ジタル技術を活用し、ス
마트フォンやタブレッ
トへの避難ルート図面の
配信等、新たな取り組みの
訓練を計画しています。

●選択と集中の行政運営 について

関係団体の代表者や一
般村民を構成員とする検
討委員会については、名称
を昭和村拠点施設整備検
討委員会と定め、要綱を整
備しました。

また、第2回目となる庁
内拠点施設整備検討会議
を開催し、昭和村拠点施設
整備検討委員会の開催時
期や提示する資料等につ
いて、協議しました。

●農業について

稲作については、国は、
7月末に開催した食糧・農
業・農村政策審議会食糧部
会において、向こう一年間
の主食用米の需給見通し
の公表を見送るとの発表
がありました。

本村の稲の生育状況に
つきましては、7月中旬か
ら8月中旬にかけて、降雨
がほとんど確認できず、出
穂期の湧水が生育に影響
を及ぼす事が危惧されま
したが、県会津坂下農業普
及所によると、生育状況は
良いとのことでした。

なお、高温障害による品
質の低下が懸念されるこ
とから、JAでは飽水管理
等で地温の上昇を抑制す

るよう指導しているほか、
各JA窓口に指導資料を
置き、周知が行われていま
す。

病害虫対策については、
昨年に引き続き、斑点米カ
メムシによる水稻被害へ
の懸念が高まっていると
して、県は県内全域に、病
害虫発生予察情報注意報
を発令しました。本村で
は、8月上旬に「いもち病
及びカメムシ類」の混合剤
による同時防除を行い、同
月中旬には「カメムシ類」
防除をそれぞれ無人ヘリ
コプターにより実施しま
した。

宿根カスミソウについ
ては、例年に無い高温傾向
が続く、短茎開花が進み、
7月定植のものは、定植直
後の枯死が散見する状況
で、規格的にも、数量的に
も、大変厳しい状況にある
ため、現在、暑熱対策とし
て、遮光や換気等によるハ
ウス内の温度管理に関し
て、会津農林事務所金山普
及所の指導の下、啓発支援
を行っています。

販売状況は、花卉全般で
猛暑による入荷量の減少
や花店の日中の来客数の
激減により消費が停滞し

ている上、昭和かすみ草
は、本年2月の豪雪の影響
と、猛暑による生育への影
響が重なり、昨年同時期実
績と比較して、20ポイント
弱減少しています。

今後高温による影響
や、台風などによる相場の
悪化も懸念されますので、
関係機関と連携を図りな
がらの確な状況の把握に
努めます。

鳥獣被害対策について
は、今年度も熊やイノシ
シ、ニホンジカによる農作
物被害が発生しており、防
除や捕獲活動を実施して
います。昨年に比べると、
被害報告は減少しており
ますが、収穫時期を迎える
稲作等への被害や、人身事
故などが発生しないよう
引き続き取組を強化しま
す。

なお、8月までの有害鳥
獣の捕獲状況については、
熊が41頭、イノシシが2
頭、ニホンジカが2頭、ア
ナグマ等の小動物が28頭、
カラスが17羽となってお
ります。

● 商工関係

昨年度からの繰越事業である物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による「かすみ草の村地域振興券発行事業」については、村内33事業者に協力をいただき、7月1日より利用が開始されました。

また、からむし織の里プレミアム付商品券も、村民の方からの認知度が高く、数日で完売されたと報告がありました。

今回も多くの方々が参加協力をしていただき、村内の地域経済の活性化及び地域振興につながるものと期待しています。

● 空き家対策について

令和7年度の移住定住促進空き家活用事業は、大芦中見沢地区の住宅で応募があり、7月に空き家コンシェルジュが改修工事前の内見を行いましたので、引き続き意見を伺いながら、工事に向けた準備を進めます。

● 観光交流事業について

喰丸小を拠点とした体験ワークショップ「昭和村ガクチカプロジェクト」を6月21日に開催し、「図画・工作」をテーマとした奥会津の物づくりや手仕事体験に、約300名の方が来校されました。

今年度は、村民の方にも講師を依頼し、日頃の活動の成果を発揮していただき、参加された方から高い評価をいただきました。今後は、同プロジェクトで「音楽」と「歴史」をテーマとしたイベントを計画しています。

また、「第38回からむし織の里フェア」が、7月19日に開催され、約900名の方が来場されました。

当日は、村内からの出店が11店あったほか、本村でしか体験できない「からむし織」や「かすみ草」に直接触れられる機会を提供するなど、本村の魅力を発信しました。

また、草加市内小学校の自然教室については、3校、延べ201名が来村し、各校とも2泊3日の行程で、矢ノ原湿原散策や

キャンプファイヤー、かすみ草の染色、からむし織など、本村でしか経験できない貴重な体験を通し、交流を図りました。

● 工事関係

村道下中津川富田線の舗装改良工事については、8月29日に入札を行いました。

国道401号新鳥居峠工区については、7月24日に本村も加盟する国道401号改良整備促進期成同盟会による、地元選出国会議員や自由民主党、国土交通省への要望活動を行いました。

国道400号舟鼻峠工区については、昭和村側の狭隘区間の改良工事やスノーシェッド補修工事等が進められています。

また、国道400号舟鼻峠改良促進期成同盟会では、8月25日に総会を実施し、舟鼻峠の改良整備促進及び構成町村内の改良要望箇所の早期事業着手について、国や県知事並びに県議会議長などに対し、要望を実施することを承認

されました。

● からむし事業について

からむし織の里フェアにおいて、着物ショーを開催し、本年度のからむし体験生3名と一般公募による3名がステージに上がったほか、からむし畑見学ツアーや「からむし引き」の実演等を実施しました。

また、8月23日、24日に「北と南の交流展『からむし』と『ブルー』を開催し、昭和村の「からむしのこえ」及び宮古島の「ブーンミの島」の上映並びに宮古島でからむしに携わる方々の座談会を行い、2日目は宮古島のからむし引きである「ブービキ」等を体験できるワークショップを開催しました。

● 福祉事業について

6月18日及び7月2日には、会津坂下消防署昭和出張所職員の指導による普通救命講習会をすみれ荘で実施し、保健福祉課、社会福祉協議会等の職員

43名が受講し、心肺停止等の緊急事態発生時の初期対応について学びました。子育て支援では、7月3日に保育所でスポーツクラブと連携し、運動指導の専門知識を有するスタッフによる幼児期に適したリズム体操等に遊びを取り入れた運動教室を実施したほか、今年度も小学校夏休み期間中は村公民館に放課後児童クラブを開所しました。

● 保健事業について

今年度の8月に行った総合健診については、国民健康保険被保険者などを対象にした特定健診は136人が受診し、受診率は前年度より2.6%増加し、46.1%となりました。また、今年度より健診受診者に対するヘルスアップ事業として、健康運動指導士による高精度体成分測定と個別指導及び栄養士による野菜摂取量充足度測定と栄養改善指導を実施し、健診受診への関心を高め継続受診を促す啓発活動を実施しました。

妊婦の経済的負担の軽減については、遠方の分娩取扱施設までの交通費や宿泊費の助成事業を拡充し、産科医療機関までの交通費助成を開始しました。

●ごみ対策事業について

8月2日に、小型家電・衣類・古紙類の無料の資源収集を行いました。

また、今年度から開始している生ゴミ処理機を無料で1ヶ月程度貸し出す「電動生ゴミ処理機貸出事業」は、8月末時点で2名の方の利用がありました。なお、生ゴミ処理機購入補助事業及び木製家具類をチップ化し再生資源として利用する取組も今年度から開始しています。

●教育行政について

令和6年度の教育委員会の管理及び執行状況については、点検及び評価を行い7月に教育行政評価委員からの指導と助言を受けましたので、8月にその報告書を議会に提出するとともに、公表を行いました。

学校教育については、昭和小学校・中学校ともに、夏休み期間中の事故等もなく、8月25日から2学期がスタートしました。

昭和小学校では、6月の総合的な学習の時間に駒止湿原で自然教室を行い、ふるさとの素晴らしい自然を体験しています。

また、「からむし織の里フェア」では、今年も大勢の来場者を前に、堂々とした鼓笛隊の演奏を披露しております。

7月30日には、草加市立新栄小学校が来村し、昨年引き続き、4年生から6年生までの児童が交流を行いました。今年は事前にオンラインで相互の学校紹介などを行い、理解を深めたうえで行ったため、来村時には再会を喜び合うなど、楽しい雰囲気での姉妹都市交流となりました。

7月と8月には、両沼西部3町村水泳記録会と校内水泳記録会が開かれ、現在陸上記録会に向けて、日々練習に励んでいます。続いて、昭和中学校では、6月に特別養護老人ホーム昭和ホームの清掃ボランティア活動を行いました。

ました。

また、7月の総合的な学習の時間では、3年生は花育の集大成として、東京都大田市場で宿根カスミソウのせり前あいさつや、店頭販売を行い、流通と販売の現場を学びました。

また、8月に開かれた両沼地区英語弁論大会には3人の生徒が出場し、素晴らしい発表を行いました。

また、新しい取組として、昭和村、金山町、三島町の小規模校の現状を勘察し、西部3町村中学校交流会を計画し、7月に1回目の交流会を行いました。

部活動の卓球部では、3年生の女子1名が7月の中体連県大会へ出場いたしました。惜しくも予選で敗れてしまいました。また、特設の部活動として2人の男子生徒が相撲に挑戦し、会津大会を勝ち抜き、県大会へと駒を進め、1人は東北大会出場を果たしました。村内の昭和COBで相撲経験者が指導にあたり、生徒は初出場とは思えない立派な成績を残しました。

8月に開催された耶麻両沼小中学校音楽祭には、今年も全校生徒が金山中学校と合同の合唱部として出場し、見事、優秀賞に輝き、県大会への出場を果たしております。

学力向上の推進については、昭和小学校・中学校ともに学力向上グラウンドデザインを定めるとともに、小・中学校教職員合同の授業研究会を開催するなど、児童生徒一人ひとりの確かな学力を高めるための取組を行っています。

また、今年度も自由参観ウィークを6月に開催し、多くの村民に参観していただき、次回の11月には、さらに多くの村民が参観するよう工夫します。

社会教育については、昭和村成人式を今年も8月15日に開催し、家族や来賓などが見守る中、お祝いすることができました。

児童を対象とした少年教室では、普段は体験することのできない溪谷での川遊びや星空の観察など、大自然に親しむとともに、村の良さを発見する機会となりました。

高齢者を対象とした千歳学級では、演劇鑑賞会や芸術鑑賞などを通して見

聞を広げるとともに、受講生相互の親睦を図っています。

生涯学習講座では、陶芸や、自然と歴史、古文書に関する講座を開催し、参加者は村の理解をいっそう深めました。

社会体育では、7月に開催された地域スポーツ両沼大会に、本村は家庭バレーボールの部に出場し、選手同士の親睦と交流が図られました。

11月に開催されるふくしま駅伝は、今年も本村は希望ふくしまチームに参画し、選手1名をエントリーしました。

教育関連施設の整備については、昭和小学校給食室屋上防水改修工事と昭和村公民館床張替工事は、それぞれ工期内に完了しました。

また、昭和村教員宿舎外構工事は、8月に入札を執行し、請負業者が決まりましたので、工期内に完了するよう努めます。

公民館日誌

○生涯学習講座「歴史・古文書講座」8月23日

昭和村公民館で、令和7年度第1回歴史・古文書講座を開催しました。

講師に奥会津博物館の渡部康人さんをお迎えして、令和5年度に村へ寄贈された古文書「公私摘要」を用いて、当時の奥会津地方の様子などについて解説いただきました。

第1回では、戦国時代からの奥会津の政治状況や、江戸時代に幕府の蔵入地や幕末に会津藩の御役知になった経緯やそのことがどのように住民に周知されていたかを実際に古文書を見ながら、解説いただきました。

歴史・古文書講座は、10月11日（土）と11月8日（土）にも開催しますので、ぜひお気軽に参加ください。



講座の資料や様子は
こちらのQRコードか
らご覧いただけます→



○生涯学習講座「陶芸教室」8月23日

公民館で生涯学習講座「陶芸教室」を開催しました。講師に大芦三笑窯の菅野まりさんをお迎えして、成形までの工程を教えてくださいました。

作りたい作品に合わせ、粘土を平らに伸ばす板づくりやろくろを使った玉づくりで形良く成形し、花柄の布を押して模様を入れたり、絵を書き入れたり自由に飾りをつけ、最後に釉薬の色とかけ方を決めました。窯出し後の作品の仕上がりイメージしながら、完成した作品を手にするのを楽しみにしている様子でした。



○生涯学習講座「昭和学講座（地形・地層編）」9月6日

第2回昭和学講座を開催しました。今回は、昭和村の地形・地層をテーマに、元県立博物館専門学芸員の竹谷陽二郎さんを講師にお迎えして、「昭和村の大地ジオツアー」と題し、村内各所をフィールドワークしながら、解説いただきました。村内には、確認できる最も古い地層として、1500万年～1900万年前の地層が存在し、その後時代ごとにどのように地層が変化してきたか実際に地層や岩石を参加者が観察しました。

講師からは、昭和村の周辺が遙か昔は海だったことや、地域を流れる野尻川は断層に沿って、流れを形成した可能性があるなど今の昭和村の成り立ちに関わる興味深いお話を伺え、参加者も熱心に聞きっていました。



講座の資料についてこちらのQRコードからご覧いただけます→



公民館日誌

○少年教室「木工教室」 8月19日

みなみあいづ森と木の情報・活動ステーションきとねで、少年教室と放課後児童クラブ合同の「木工教室」を開催しました。講師に MOKKA ウッドアドバイザー認定講師の渡部絵美さんをお迎えして、かんなくずを使った木工工作を教えてくださいました。

星型に形取ったしっかり厚めのかんなくずの中に、緑・ピンク・黄に染めた薄いかんなくずを詰め、かすみ草のドライフラワーや木の実をボンドでバランス良く飾りつけ、かわいらしい星の壁掛けを作りました。また、かんなくずを詰め虫よけに効くアロマスプレーを吹きかけた、虫よけサシェも作りました。

普段は捨ててしまうかんなくずが素敵な作品に生まれ変わるエコな環境学習を楽しく体験できました。



作品の写真はこちらのQRコードからご覧いただけます→



○少年教室・生涯学習講座「夏の星空観察会」 8月29日

奥会津昭和の森キャンプ場で少年教室と生涯学習講座合同の「夏の星空観察会」を開催しました。講師に休暇村裏磐梯天文台の高梨光一さん（星のおじさま）をお迎えし、夏の夜空の星や星座について詳しくお話いただきました。

当日は旧暦の伝統的七夕の日にあたり、夏空が広がることが多い星を楽しむのに絶好の機会でした。始まって間もない頃は少し雲ががっていた空も次第に澄み渡り、織姫星（ベガ）・彦星（アルタイル）・はくちょう座（デネブ）を結んだ夏の大三角形、無数の星が美しく広がる天の川、赤く輝く星が特徴的なさそり座、珍しいいるか座・や座など、たくさんの星座が夜空にきらめきました。参加者は講師の説明に耳を傾けながら満天の星空を見上げ、神秘的な星座の輝きを楽しみました。また、教室の終盤に空に現れた土星を望遠鏡で観察し、くっきりとした輪で囲まれた姿も見ることができました。



○少年教室「防災教室」 9月6日

9月の防災月間にちなみ、栃木県防災館で少年教室「防災教室」を開催しました。

始めにDVDを見ながら、家・学校・屋外などで地震が発生した時のそれぞれの対応方法についてクイズ形式で学習しました。次に体験型の学習を行い、大雨・大風・地震・煙迷路の4つの災害の疑似体験を通して身をもって災害の危険性を感じ、防災への備えの大切さを実感しました。

また、暑い日の学習先にぴったりな、ひんやり涼しい大谷資料館へも足を延ばしました。圧倒されるような地下30mの巨大な採石場跡をガイドの方に説明いただきながら見学し、大谷石の歴史、採掘技術、秘密工場や貯蔵庫としての利用の歴史、さまざまな映画などの撮影場所の紹介等々、たくさんの興味深い話を知ることができました。



行政相談月間「行政の困りごとありませんか」

総務省では、行政相談制度及び行政相談委員制度の認知度向上のため、9月から10月の2か月間を「行政相談月間」としています。

行政相談委員が国の仕事やサービス、各種制度の手続きなどお困りごとや苦情、ご意見、ご要望をお聞きします。

相談は無料で秘密は守られますので、お気軽にご相談ください。

【行政相談委員】

本名 千代（下中津川） ☎ 0241-57-2770

【問い合わせ】 住民係 ☎ 0241-57-2115

「不正軽油を作らない・売らない・買わない・使わない」

県では、10月を「不正軽油撲滅強化月間」と定め、関係団体と協力して、不正軽油の排除に取り組んでおります。

不正軽油の防止・撲滅には、県民の皆様のご協力と情報提供が欠かせません。

不正軽油の情報提供につきましては、県庁税務課または最寄りの地方振興局県税部までご連絡ください。

【問い合わせ】

不正軽油ホットライン ☎ 024-521-7205 FAX 024-521-7905

（県庁総務部税務課） 電子メ-ル zeimu@pref.fukushima.lg.jp

会津地方振興局県税部 TEL 0242-29-5264 FAX 0242-29-5239

電子メ-ル aizukenzei@pref.fukushima.lg.jp

身体の状態把握していますか？

8月4～6日の3日間、すみれ荘で総合健診を実施しました。今年は通常の健診項目の他に、体の筋肉や脂肪などが数値化できる体成分測定や、野菜摂取量がわかるベジチェック、歯周病のリスクについてセルフチェックできる検査などが行われ、その場で出た結果を見ながら友人同士、話に花を咲かせていました。

健康診断は皆さんの身体の状態を確認する大切な機会です。診療所での個別健診や村外医療機関での人間ドックも実施していますので、年に一度は健診を受け健やかな生活を送る一助としてください。今回行った体成分測定、ベジチェックの全体結果は以下のQRコードから確認できます

健診で2つの測定を行った方は、ご自分の結果と見比べてみましょう。また今後行われる生活習慣病予防・改善教室でも2つの測定を行う予定です。どなたでも参加できますので興味のある方は是非お越しください。

【問い合わせ】 住民係 ☎ 0241-57-2115
保健福祉課 ☎ 0241-57-2645

体成分測定、ベジチェックの
全体結果はこちらのQRコード
からご覧いただけます→



ごみの減量に効果絶大！
～家庭用生ごみ処理機貸出事業・家庭用生ごみ処理機購入費補助事業～

8月から生ごみ処理機の貸出事業と生ごみ処理機購入費補助事業を開始しました。
貸出事業をご利用いただいた方（1世帯3人家族）の結果などをお知らせします。

- 生ごみ処理機に入れる前の生ごみの重さ…420g（1日で発生した生ごみ）
生ごみ処理機で処理したあとの重さ……79g
★1日あたり341g（1人あたり約113g）も減量しました！

◎令和6年8月号の広報しょうわで、令和7年度のごみ排出目標値を達成するには、
「1人1日あたり50gの減量が必要」とお知らせしましたが、あっという間に目標を達成できる計算です！

■使用していただいた方の感想

- ・「音やにおいが気にならない」
- ・「ごみ減量化に効果的だと感じる」
- ・「生ごみ処理機を購入して使用してみたい」



◎効果を試してみたい、生ごみ処理機を買いたいけど、一度使ってから検討したい方など
いつでもご相談ください。

生ごみ処理機を使わなくてもちょっとした工夫で減量できます

○ごみを出す前に

生ごみの水分を減らす工夫をしましょう

- ・水にぬらさない 野菜の皮をむくときは、洗う前にむきましょう。
 - ・お茶がらやティーバッグはしぼって乾かす。
 - ・ごみだし前にひとしぼり たまった水分をしぼりましょう。
- ごみ減量化 悪臭の発生抑制 ごみの燃焼効率向上につながります。

◎ごみの分別

燃やせるごみの中には、リサイクルできる雑がみ、プラスチック製容器包装が多く含まれています。分別して、資源ゴミとして出しましょう。

【問い合わせ】保健福祉課 ☎ 0241-57-2645

喘息について

宮下病院 内科 渡辺綾

季節の変わり目で寒暖差が大きくなる時期になりました。長引く咳が気になる方は「喘息」に注意が必要です。喘息の特徴は、気温差や夜間～明け方に咳が悪化し、運動や会話などで咳が止まらなくなります。さらに悪化すると「ゼーゼー」とした喘鳴や息苦しさが見られ、呼吸がうまくできず重篤になることもあります。秋は喘息が悪化する季節であり、このような症状が気になる方は医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。

【問い合わせ】宮下病院 ☎ 0241-52-2321

アレクサンドラ 先生の小噺#22

Alexandra Short Story

Spooky Halloween (不気味なハロウィン)



外国語指導助手 アレクサンドラ先生

(原文)

Dear Showa Village Residents, The cool breeze of fall is finally here—what a relief! Personally, I'm happy to say goodbye to my spot cooler and (hopefully) save a bit on electricity.

It's the perfect season for hikes and enjoying the crisp autumn air. In the West, October isn't just about cooler temperatures, it's also when Halloween takes over!

Decorations pop up everywhere: houses, shops, even nail salons transform with spooky vibes. I once went to get my nails done and barely recognized the place. It felt like I'd stepped into a Halloween movie set!

While most people wear costumes only on Halloween day, there are always a few who go all out, dressing up in different spooky outfits all month long. Some even switch up their hairstyles and makeup to match the theme!

My favorite Halloween memory was when I was 11. My mom, brother, and I visited a neighborhood famous for its over-the-top decorations. The houses were incredible, with eerie lights, sound effects, and even indoor haunted house setups where you had to dodge zombies and mummies to find candy. That year, I dressed up as a witch and went home with three full bags of candy, chips, and chocolate!

Thanks for reading, and wishing you all a fun and spooky Halloween season! I'll leave you with this picture of me at age two, Trick-or-Treating with my friends!

アレクサンドラ先生が記事の内容を英語で話しています。下記のQRコードからご覧ください。



(日本語訳)

昭和村の皆さん、ようやく秋の涼しい風が吹いてきましたね。ほっと一安心ですね！個人的には、スポットクーラーとお別れできて（おそらく）電気代が少し節約できるのが嬉しいです。

この時期はハイキングやさわやかな秋の空気を楽しむのに最適な季節です。西洋では、10月は単に気温が下がるだけでなく、ハロウィンの季節でもあります！

あらゆるところに装飾が施され、家、お店、ネイルサロンまでもが不気味な雰囲気になります。以前ネイルサロンに行ったのですが、その場所がネイルサロンだとはほとんど分かりませんでした。まるでハロウィンの映画のセットに足を踏み入れたような気分でした！

ハロウィンの日にだけ仮装する人がほとんどですが、1ヶ月間ずっとさまざまな不気味な衣装に身を包み、徹底的に楽しむ人も必ず何人かはいます。テーマに合わせて髪型やメイクを変える人もいます！

私の一番好きなハロウィンの思い出は、11歳の時のことです。母と弟と私は、派手な飾り付けで有名な近くの街を訪れました。家々は信じられないほど素晴らしく、不気味な照明や音響効果、さらには屋内に設置されたお化け屋敷まであり、ゾンビやミイラをかわしながらお菓子を探さなければなりません。その年、私は魔女に仮装してお菓子やポテトチップス、チョコレートでいっぱいの袋を3つも持って帰りました！

読んでいただきありがとうございます。皆さんが楽しく、そしてちょっと不気味なハロウィンシーズンを過ごせますように！

最後に、私が2歳のときに友達とトリック・オア・トリートをしている写真をご覧ください！



【連載】昭和村の歴史と文化

（第33回）

菅家 博昭（大岐）

8月23日、24日の
行事集中日

8月23日午前10時～正午、下中津川 昭和村公民館の「昭和村歴史講座 第1回 『公私摘要』から紐解く昭和村の歴史① 南山（みなみのやま）御蔵入（おくらいり）から南山御役知（おんやくちへ）」講師は奥会津博物館文化財専門員の渡部康人氏（1960年会津田島生）。たいへん有意義な講座でした、2回目の9月20日は秋彼岸の切り花出荷繁忙期のため出席できなかったが、10月11日の3回目講座には出席する。古文書の文字解読だけでなく歴史的背景に時間をかけ解説されるので、郷土を理解できる歴史講座で新しいスタイルでした。同日公民館では、昭和村

と宮古島のからむしの映画の上映会と公開座談会が開催されている。三島町では、間方の山の暮らしの記録映画の上映会が開催されている。

8月24日は、佐倉の道の駅しゅうわ・織姫交流館で、沖縄県宮古島市から来村されている4名の方による、からむしの繊維取り出しに関する体験交流会が開催され多数の方々が集まった。

私は92歳の父・清一（せいいち）と一緒に参加した。役場担当の方から説明を受けたほか、宮古島からクール宅配便で送ったという現地のカラムシ（刈り取り、折りたたみ）が水にひたされている場所も見えた。現役でこの夏もカラムシの刈り取り、剥ぎを行っている父が、この繊維を剥いたところ「良い繊維だ。皮が

薄く、よく剥げる」と感想を語った。

会場では、宮古島の人たちが昭和村のやり方でカラムシ引き、宮古島から持参したミミガイを利用した宮古島のカラムシ繊維の取り出しを体験した。

大芦の佐藤孝雄さんがご自身のインターネットブログに以下の報告をされているので紹介する。

大芦家閉店後、昭和村公民館へ。15時55分から17時10分まで、宮古島の方々の座談会があった。午前中は、昭和村の映画「からむしのこえ」の上映。午後は、宮古島の「ブーンミの島」の上映があったが、大芦家の営業があるため欠席。座談会の司会は「ブーンミの島」の監督春日聡さん。登壇者は、浦崎美由紀さん、神里佐千子さん、宮国利恵さん、羽地直子さんの4名。全員、宮古島で織物

事業に関わっておられる。

座談会の前に、ホールにおられた浦崎さんにごあいさつ。浦崎さんは、昨年12月に開かれた交流会にも岩本大輔さんと一緒に参加されていて、大芦家にも来られたので面識がある。浦崎さんに「今回、岩本さんは参加されなくて残念ですね」と話すと「織物事業協同組合の仕事があるので」とのこと。ちなみに、浦崎さんは、宮古織物事業協同組合の理事長でもある。また、今回登壇された羽地直子さんは浦崎さんの母親とのことだった。



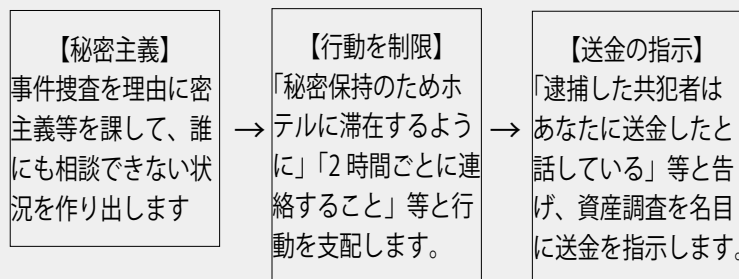
警察署からのお知らせ

ニセ警察詐欺に注意

警察官を名乗る者から、「あなたが犯罪に加担している証拠がある」等と追い詰められ、「容疑を晴らすため」の公道を指示されて、お金をだまし取られる被害が多発しています。

○被害者を“追い詰める嘘”の例

- ・「逮捕状が出ている」
- ・「情報を漏らすと懲役・罰金になる」
- ・「捜査に協力すれば好印象だ」
- ・「居場所は逐一報告すること」



ダマシが始まる前に、犯人の電話をブロックしましょう

昭和村内街頭犯罪等発生状況 (令和7年8月末現在)

区 分	管内	昭和村
強 盗		
空 き 巣		
忍 び 込 み		
事務所荒らし		
出店荒らし		
自 動 車 盗		
オートバイ盗		
自 転 車 盗	3	
自販機ねらい		
車 上 ね ら い	1	
ひったくり		
部 品 ね ら い		
強制わいせつ		
街頭犯罪合計	0	0
その他刑法犯等	57	4
全 刑 法 犯	61	4

※その他刑法犯等には、暴行、傷害、万引き、詐欺、器物損壊などの犯罪発生件数が含まれます。

※上記発生件数は、令和7年1月1日からの累計数になっています。

消防署からのお知らせ

10月は蜂の季節！？

蜂の活動時期は？

蜂、特にスズメバチの活動最盛期は一般に 7月～10月 と言われています。つまり、この時期は蜂が最も攻撃的になっている時期ということです。

また、ミツバチが攻撃的になる時期も 10月～11月 と言われています。

●蜂に刺されないようにするには？

- ①白い服を着る・・・スズメバチは黒い物を目掛けて襲ってくる習性があります。
- ②香水やヘアスプレー等は付けない・・・蜂は強い匂いに敏感に反応します。
- ③屋外でのジュースは危ない・・・飲料水に寄ってくる場合があります。

※何より蜂の巣を見つけたら近寄らないようにして下さい！

もし蜂に刺されて体調が悪くなったら・・・

ためらわずにすぐ救急車を！

火事・救急・救助は **119**

会津坂下消防署昭和出張所
☎ 57-2119 <http://www.119-aizu.jp/>



＋ 10月の休日当番医 ＋

- 10月5日(日) 荒井医院
☎ 0242-83-2224 (会津坂下町)
- 12日(日) 高田厚生病院
☎ 0242-54-2211 (会津美里町)
- 13日(月・祝) 柳津国保診療所
☎ 0242-42-2334 (柳津町)
- 19日(日) 遠山眼科医院
☎ 0242-83-2011 (会津坂下町)
- 26日(日) もこぬま内科消化器科医院
☎ 0242-56-5622 (会津美里町)
- 11月2日(日) 坂下厚生総合病院
☎ 0242-83-3511 (会津坂下町)
- 3日(月・祝) 遠山眼科医院
☎ 0242-83-2011 (会津坂下町)

◆◆◆ 戸籍の窓口 ◆◆◆

令和7年8月1日～8月31日受付

● お誕生おめでとうございます

今月の届け出はありません

● ご結婚おめでとうございます

今月の届け出はありません

● おくやみ申し上げます

星 ハツエ さん 88歳 小中津川

※戸籍の窓口への掲載を希望されない方は届出の際にお申し出下さい。

◆◆◆ 昭和村の人口 ◆◆◆

令和7年9月1日現在※住民基本台帳人口

人 口	1,058 人	(－1)	出 生	0 人
男	517 人	(－1)	死 亡	1 人
女	541 人	(0)	転 入	2 人
世 帯 数	604 戸	(－1)	転 出	2 人

◆◆◆ すみれ荘だより ◆◆◆

10月1日(水) 生活習慣病予防・改善教室①
13:00～

10月22日(水) 健康講演会 13:30～

10月22日(水) 青壮年(18歳～70歳前後)向け運動教室(ストレッチ&脂肪燃焼運動)
18:30～

10月27日(月) 生活習慣病予防・改善教室②
13:00～

* つみきクラブ 毎週水曜日 9:00～11:30
(会場の都合によりお部屋の変更または休止になる場合がありますのでご了承ください)

健康ミニ情報

<内臓脂肪について>

身体につく脂肪の種類は、皮下脂肪と内臓脂肪の2つに分けられます。このうち内臓脂肪は生活習慣病に悪影響を及ぼすものです。内臓脂肪は代謝により血液中の脂質濃度を高める、血糖の調整をするインスリンというホルモンの働きを悪くする、脂肪細胞からは血圧を上昇させる物質が分泌されるなど、内臓脂肪が過剰に付くことで脂質異常、糖尿病、高血圧、そこからさらに心筋梗塞や脳卒中といった命に関わる病気の引き金となることもあるので、何らかの対策を講じる必要があります。

内臓脂肪を減らすポイントは、適切な食生活、継続的な運動(有酸素運動)、禁煙・禁酒、ストレスの軽減など、基本的な対策は生活習慣病の予防＝健康づくりと同じです。

<食事>

- ① 良く噛んで食べる、食べ過ぎを防ぐ
- ② 油物や甘い物を控える
- ③ アルコールを控える

<運動>

- ① 有酸素運動を習慣にする(継続的に運動する)
- ② 筋肉量の減少も防げるよう筋トレも取り入れる
- ③ 日頃から生活の中でこまめに動くことを意識する

地域のしあわせづくり活動紹介「ひとり暮らし高齢者親睦旅行」

9月19日と26日に、昭和村社会福祉協議会事業「ひとり暮らし高齢者親睦旅行」が実施されました。今年は会津若松市へ行き「末廣 嘉永蔵」の酒蔵見学と、北会津の果樹園でぶどう狩りを楽しみ、参加者の皆さん同士で親睦を深めておられました。

天気に恵まれ、車窓から見える稲刈り間近の田んぼや会津盆地の景色を眺めながら、バスの中でも会話が弾む賑やかな旅行となりました。

(生活支援コーディネーター：和泉・小林)



交通死亡事故ゼロカウンター

昭和村は交通死亡事故ゼロの記録更新中です。

4000 日目
(9/25時点)

はたしる

10月に入り、やっと気温が落ち着いて来たような気がします。食欲の秋、運動の秋、色々ありますが、私は今年「読書の秋」にどっぷり浸ってみたいと思っています。

毎月、広報しょうわ内の記事の一つとして、「電子図書館」のコーナーがあります。

私も利用登録しているのですが、なかなかそれでも本を読めていないのが、実際のところですよ。

毎月の新刊紹介を参考にしながら、休日は読書に勤しみたいと思う今日この頃です。(う)

◆◆◆ 今月の納税 ◆◆◆

- ◎ 村県民税 3期
- ◎ 国民健康保険税 4期
- ◎ 後期高齢者医療保険料 3期
- ◎ 介護保険料 4期

〔納期限：令和7年10月31日〕

昭和村民憲章

- 一、伝えましょう
はた音の響き
- 一、守りましょう
手技の智慧
- 一、創りましょう
おいしい水
豊かな大地
- 一、育てましょう
健やかな心と体
長寿の里
- 一、助け合おう
いたわりの気持ち
- 一、広げましょう
明るい笑顔
みんなの和

皆様からの情報お待ちしております！

広報しょうわでは、皆様からの情報をお待ちしております。お気軽に下記までお寄せ下さい。

役場 総務課 企画創生係

☎ 0241-42-7717

kikakusousei@vill.showa.fukushima.jp



広報

しょうわ

2025

10

No.677

発行 日：令和7年10月1日
編集 行：福島県昭和村
企画 行：昭和村役場総務課

〒968-0103 福島県大沼郡昭和村大字下中津川字中島 652
TEL: 0241-57-2111 / FAX: 0241-57-3044
WEB: https://www.vill.showa.fukushima.jp/